



# 最近の統計調査結果から

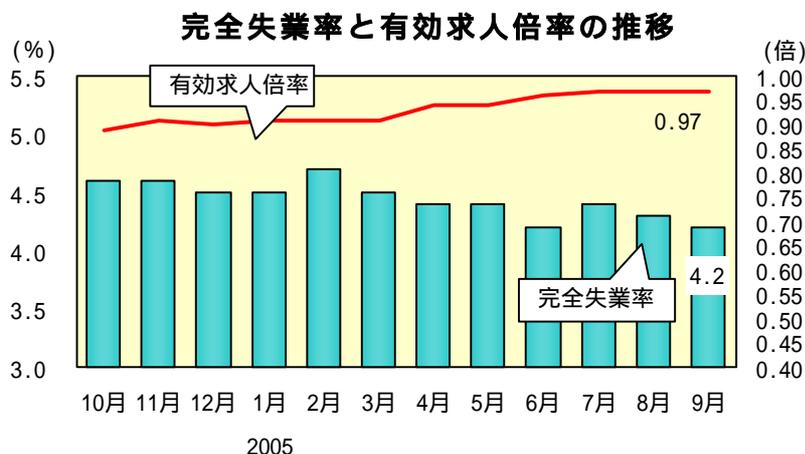
2005年10月

【平成17年10月4日(火)～平成17年10月31日(月)】

## 統計調査報告

平成16年労使コミュニケーション調査結果の概況 10月14日(金)厚生労働省発表  
 ・労働者側において、事業所での労使間の意思疎通が「良好」と考えている割合が44.0%、「どちらともいえない」40.1%、「悪い」15.9%となっている。

労働力調査～9月～ 10月28日(金)総務省発表  
 一般職業紹介状況～9月～ 10月28日(金)厚生労働省発表  
 ・失業率(季調値)は、前月比0.1ポイント低下の4.2%。男女別には、男性は0.1ポイント低下の4.3%、女性は前月と同率の4.2%。  
 ・有効求人倍率(季調値)は0.97倍と前月と同水準。  
 ・雇用者数(季調値)は5456万人と、前月比1.5%増。  
 ・完全失業者は285万人と、前年同月に比べ24万人の減少。28か月連続の減少。



家計調査～9月～ 10月28日(金)総務省発表  
 ・勤労者世帯の実質支出は、前年同月比0.4%減。

消費者物価指数～9月～ 10月28日(金)総務省発表(9月)(東京都10月)  
 ・消費者物価指数は、前年同月比0.3%の下落。なお、10月の東京都区部は、同1.0%の下落。

鉱工業生産指数～9月速報～ 10月28日(金)経済産業省発表  
 ・鉱工業生産指数(季調値)は、前月比0.2%増と2か月連続の上昇。

**事業所・企業統計調査～平成16年確報～**

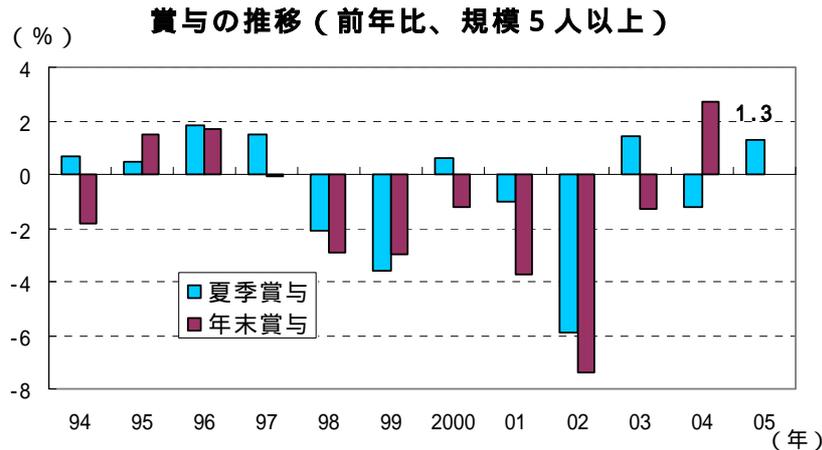
10月28日(金)総務省発表

- ・5年前に比べ、従業者数は3.2%(年率0.7%)の減少。  
1事業所当たりの従業者数を平成11年と比べると、8.7人から9.1人へと増加。

**毎月勤労統計調査～9月速報及び夏季賞与**

10月31日(月)厚生労働省発表

- ・現金給与総額(規模5人以上)は前年同月比1.3%減。きまって支給する給与は0.6%増加。
- ・製造業の所定外労働時間(規模5人以上、季調値)は前月比2.4%の減少。
- ・常用雇用(規模5人以上)は前年同月比0.5%増加。
- ・夏季賞与は前年に比べ1.3%増の410,618円。



## 研究会報告等

**月例経済報告～10月～**

10月12日(木)内閣府発表

- 景気は、緩やかに回復している。(前月：企業部門と家計部門がともに改善し)
- ・企業収益は改善し、設備投資は増加している。(前月とかわらず)
  - ・個人消費は、緩やかに増加している。(前月とかわらず)
  - ・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる。(前月とかわらず)
  - ・輸出は持ち直し、生産は横ばいとなっている。(前月とかわらず)

**月例労働経済報告～10月～**

10月12日(木)厚生労働省発表

労働経済面をみると、完全失業率が高水準ながらも、低下傾向で推移し、賃金も緩やかに増加するなど、雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる。

「最近の統計調査結果から」は、当機構ホームページにも掲載されております。  
 なお、労働経済に関する指標をコンパクトにまとめた「主要労働統計指標」も作成しております。

<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/index.html>

[ 次号予定 11月30日(水) ] 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 情報解析部